

UMC-Japanese Ministry
11 Highgate Terrace
Bergenfield, NJ 07621 [USA](#)

新サーキットライダー2010年7、8月号



ガリラヤ湖畔、主イエスが漁から疲れて帰ってきた弟子達を待っていて下さった浜辺、2009年ハーベストタイム45回聖地旅行から

United **M**ethodist **C**hurch - **J**apanese **A**merican **M**inistry

合同メソジスト教会日本語ミニストリー

c/o The Church of The Good Shepherd, 326 New Bridge Road, Bergenfield, NJ 07621

Pastor Jun Yoshimatsu 牧師：吉松 純

Church: (201) 385-4100 Homepage: www.umc-japan.org

待ち続ける神

またイエスは言われた。「ある人に息子が二人いた。弟の方が父親に、『お父さん、わたしが頂くことになっている財産の分け前をください』と言った。それで、父親は財産を二人に分けてやった。何日もたたないうちに、下の息子は全部を金に換えて、遠い国に旅立ち、そこで放蕩の限りを尽くして、財産を無駄遣いしてしまった。

何もかも使い果たしたとき、その地方にひどい飢饉が起こって、彼は食べるにも困り始めた。それで、その地方に住むある人のところに身を寄せたところ、その人は彼を畑にやっけて豚の世話をさせた。彼は豚の食べるいなご豆を食べてでも腹を満たしたかったが、食べ物をくれる人はだれもいなかった。そこで、彼は我に返って言った。『父のところでは、あんなに大勢の雇い人に、有り余るほどパンがあるのに、わたしはここで飢え死にしそうだ。ここをたち、父のところに行って言おう。「お父さん、わたしは天に対しても、またお父さんに対しても罪を犯しました。もう息子と呼ばれる資格はありません。雇い人の一人にしてください」と。』

そして、彼はそこをたち、父親のもとに行った。ところが、まだ遠く離れていたのに、父親は息子を見つけて、隣れに思い、走り寄って首を抱き、接吻した。息子は言った。『お父さん、わたしは天に対しても、またお父さんに対しても罪を犯しました。もう息子と呼ばれる資格はありません。』しかし、父親は僕（しもべ）たちに言った。『急いでいちばん良い服を持って来て、この子に着せ、手に指輪をはめてやり、足に履物を履かせなさい。それから、肥えた子牛を連れて来て屠りなさい。食べて祝おう。この息子は、死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったからだ。』そして、祝宴を始めた。

ところで、兄の方は畑にいたが、家の近くまで来ると、音楽や踊りのざわめきが聞こえてきた。そこで、僕の一人を呼んで、これはいったい何事かと尋ねた。僕は言った。『弟さんが帰って来られました。無事な姿で迎えたというので、お父上は肥えた子牛を屠られたのです。』

兄は怒って家に入ろうとはせず、父親が出て来てなだめた。しかし、兄は父親に言った。『このとおり、わたしは何年もお父さんに仕えています。言いつけに背いたことは一度もありません。それなのに、わたしが友達と宴会をするために、子山羊一匹すらくれなかったではありませんか。ところが、あなたのあの息子が、娼婦どもと一緒にあなたの身上を食いつぶして帰って来ると、肥えた子牛を屠っておやりになる。』

すると、父親は言った。『子よ、お前はいつもわたしと一緒にいる。わたしのものは全部お前のものだ。だが、お前のあの弟は死んでいたのに生き返った。いなくなっていたのに見つかったのだ。祝宴を開いて楽しみ喜ぶのは当たり前ではないか。』」（ルカによる福音書15：11-32）

7月下旬に入り、ここアメリカ東部ニュージャージーも例年になく暑い日々が続いていますが、日本は更に過酷な暑さで「記録的な猛暑」だそうで、数日前、日本の父母に暑中見舞いの電話をしました。「熱中症で倒れる人が毎日のように出ている、しかも高齢者に多い」とTV-JapanのNHKニュースで言っていたからです。

電話の向こうの両親は元気な様子で「あれ、何かあったのかしら？」と逆に突然の電話に一瞬心配したようでしたが、すぐに四方山話になりました。会話の中で母が「今度はいつ帰ってくるの？」と訊き、その後直ぐに「あっそうか、今年は5月に王子北教会の50周年で帰ってきたからもう帰ってこないんだね。」と言って笑い、日本の様子など話してくれましたが、ちょっと淋しそうな笑い声でした。

「親と言うものは有難いものだなあ」とその電話のやり取りから改めて思いました。30年も日本から離れアメリカで生活し、アメリカに半ば定住しているのに、こんな自分でも帰ってくることを楽しみにしてくれている。

聖書の神は正に子供の帰りを待ち続ける神です。長い引用になりましたが、ルカによる福音書15章の3つのたとえ話、取分け今回引用した「放蕩息子の話」は神と人間の関係を表しています。

本来、人間は神と共にある存在でしたが、神から離れてしまいました。これは聖書の一番初めの創世記の2、3章に書かれている天地創造、アダムとエバ（英語読みはイブ）の墮落の物語に象徴されています。最初の人類がアダムさん、エバさんという風に文字通り読むクリスチャンもいますが、むしろこの話は以下の教えを喩えて語っていると考えていただければ良いかと思えます。

1. 人間は本来（霊的に）神と共にあるべき存在だった。
2. しかし神を裏切ってエデンの園（神の国）から追われた。
3. 故に人は神無き世界（罪）に生きている。

聖書のいう罪とはこの神から離れた状態、「神無し」の世界に生きることを言います。例えるなら親不孝をして親元から離れ、親と和解せず暮らし続けているようなものです。親である神は私たち人間が神の元に立ち返るのをいつまでも待ち続けています。これを見事に解りやすく描いているのが「放蕩息子の話」です。

そして神から離れている私たちの為にイエス・キリストが来られたのです。誰でもイエスを信じれば、神の元に帰ることができる。これこそが私たちクリスチャンの「救い」です。

「放蕩息子の話」はまだ救いに預かっていない方たちばかりでなく、クリスチャンで理由はともあれ信仰を失い、教会から離れている人へのメッセージでもあります。

嬉しくないですか？あなたのことを、私のことを待ち続けてくれる神がいるのですから。同様に主イエスの教会も、私も皆さんをお待ちしています。英語でよくこんな表現を耳にします。正に「放蕩息子の話」に出てくる父[神]の思いであり、私の、そして教会の思いです。

God loves you, so do I. God is always waiting for you, so come home, my friend!

皆様、良い夏をお過ごし下さい。

吉松 純

礼拝予定：

7月
4日 礼拝、聖餐式
11日 礼拝
18日 礼拝
25日 礼拝、ゲスト：立石尚志牧師
8月
1日 礼拝、ゲスト：鈴木譲牧師
8日 礼拝
15日 礼拝
22日 礼拝
29日 礼拝
9月
5日 東部日本語教会合同ファミリー・キャン
プ参加、グッドシェパードでの礼拝はあり
りません。
12日 礼拝、聖餐式、J r. 教会、
新年度の目
標を立てる

お知らせ：

- * 吉松牧師は7月25日から8月6日までニューヨーク・シェルター島のキャンプ・クイニペットで行われるディスカバリー・キャンプに参加します。また平田寛佳さん、デルラン・フレデリック君もジュニア・カウンセラーで参加します。どうぞ覚えてお祈り下さい。



昨夏のキャンプ集合写真、キャビン前にある木の下で

- * 吉松牧師が留守中、7月25日はグリニチ福音日本語教会の立石尚志牧師、8月1日はニューヨーク日本語教会の鈴木譲牧師が説教を取次いで下さいます。お二人の先生と共に礼拝を確りお守り下さい。

- * 2回の礼拝の司会をして下さいます磯山秀夫兄に感謝いたします。
- * 今年の東海外日本語教会合同ファミリー・キャンプは9月4、5、6日のレイバー・デーの週末です。既に300名を上回る申し込みが多く教会を通してありました。まだ迷っている方は是非参加することをお勧めします。

**お祈りと献金の御協力をお願いします。
 チェックのあて先はUMC-JAとし、どの
 プログラムに献金したいか明記してお
 送り下さい。**

- * 自然災害被害者の為
- * サマーキャンプの為
- * 2010年東部日本語教会合同ファミリーキャンプの為
- * ハーベスト・タイムの新たなミッションの為
- * 消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)に送ります。JOCS海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。
- * ケニヤの恵まれない子供達やエイズの患者さんの為に特別献金をしています。
- * パターソンのSt. Philip伝道と社会福祉団体CUMAC/ECHOの為に。どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達の炊き出しと路傍伝道をしています。

教会の住所：

UMC-Japanese Ministry

The Church of the Good Shepherd, UMC.

326 New Bridge Rd. Bergenfield, NJ 07621

英語オフィス (201) 385-4100

ホームページ：<http://umc-japan.org>

牧師館：(201) 338-2744

吉松牧師 junyoshim@optonline.net

教会学校担当：吉松 泉姉

izumi.yoshimatsu@gmail.com